

5章 データフォーマットの整備

5.1 目的

生活行動パターン情報システム（PC版）は、本事業で計測した歩行サーベイ結果に加え、データの空間的な連続性を担保する統合マップや航空機モニタリング結果などを取り込む必要がある。ここでは各種事業で取得された空間線量率データについて、生活行動パターン情報システム（PC版）に適用可能なデータフォーマットに整備することを目的とした。

5.2 手法

5.2.1 空間線量率データ

フォーマットを整備した空間線量率データを表 5-1 に示す。

5.2.1 データフォーマット

各種の空間線量率データは、様々なフォーマットで取得されているため、別添の定義書に沿い、フォーマットを統一した。

表 5-1 本事業、および過年度事業で整備した環境モニタリングデータ

測定データ(測定事業等)	説明
生活行動パターン測定	本事業
統合マップ	規制庁にて実施している「放射性物質測定調査委託費（東京電力株式会社福島第一原子力発電所事故に伴う放射性物質の分布データの集約）事業」で得られた空間線量率分布を統合したマップ
航空機モニタリング	規制庁にて実施している福島県及びその近隣県における航空機モニタリングの測定データ
詳細モニタリング	規制庁にて実施している避難指示区域等を対象とした詳細モニタリングの測定データ
放射線モニタリング	各自治体によって独自に測定されている放射線モニタリングのデータ
個人線量測定	GPS 付き個人線量計で測定された個人線量データ
東京電力による走行サーベイ	経済産業省のサイトにて公開されている、モニタリングカーによる走行サーベイのデータ
放射性物質の分布状況等調査による走行サーベイ (KURAMA)	文部科学省、原子力規制庁による放射性物質の分布状況等調査にて、走行サーベイシステム「KURAMA」を使用した測定データ
放射性物質の分布状況等調査による無人ヘリモニタリング	文部科学省、原子力規制庁による放射性物質の分布状況等調査にて、無人ヘリによる空間線量率の測定データ
放射性物質の分布状況等調査による航空機モニタリング	文部科学省及び米国エネルギー省、原子力規制庁により実施された航空機による空間線量率の測定データ